

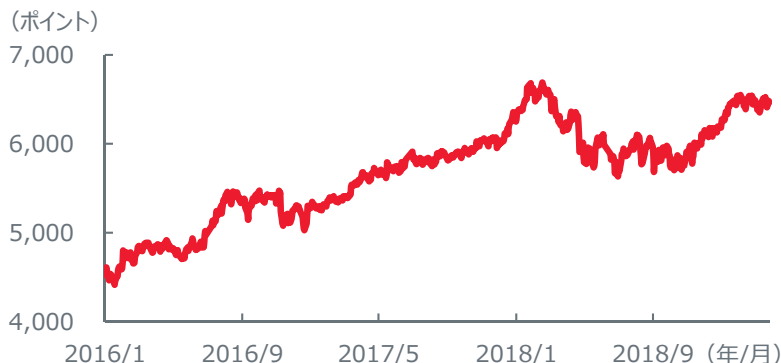
Indonesia Weekly

2019年4月1日



(対象期間：2019/3/25～2019/3/29)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年3月29日)



【株式市場】

欧州の景気指標の悪化を発端に、米国の長短金利が逆転するなどため、世界的に景気後退の懸念が高まり、先週のインドネシア株式市場は下落して始まりました。その後は外国人投資家の根強い買いと国内投資家の利益確定売りが拮抗する中で、狭い値幅での推移となり、週間では小幅な下落となりました。セクター別では金融、インフラ・公益・輸送などが上昇した一方で、鉱業、消費財などは下落しました。

2019/3/22	2019/3/29	変化率
6,525.27	6,468.76	-0.87%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年3月29日)



【債券市場】

26日に行われた国債入札は堅調となり、発行額は当初発行予定額を大幅に上回る25兆ルピアとなりました。入札の強い結果を受けて、入札直後は国債利回りは低下（価格は上昇）しましたが、その後は、世界景気に対する懸念などを背景に、為替市場でルピアが弱含みとなったことが嫌気され、週間では利回りは上昇（価格は下落）しました。

2019/3/22	2019/3/29	変化幅
7.611	7.633	+0.022

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年3月29日)



【為替市場】

新興国通貨市場でトルコリラが乱高下したことなどを背景に、投資家のリスクを回避する動きが強まり、ルピアは上値の重い展開となりました。週間では、ルピアは対米ドル、対円ともに下落しました。インドネシア中央銀行(BI)総裁は、自国の通貨及び債券を支えるために介入を行うと表明し、トルコの混乱は「トルコ国内の問題」として、危機の波及の防止を図りました。

2019/3/22	2019/3/29	変化率
0.7788	0.7769	-0.24%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ